

教会の愛する皆さん。

幼子イエス様の降誕、おめでとうございます。

私たちは待降節を過ぎながらイエス様の降誕を待っていました。

しかし、今年はイエス様の降誕を待つときめきより、新型コロナウイルス

ウィルス感染症という不安がより強く感じました。

それにもかかわらず、変わらない真理があります。すなわち、私たちがどのような状況に置かれていても、イエス様は必ず世界の小さな喜び、小さな光で人となられていらっしゃるということです。

幼子イエス様の降誕を喜び、私たちのために人となられた神様に感謝を捧げる今日。私たちも世界に小さな喜び、小さな光を伝える人となられた神様の神秘を生きようように努力しましょう。

もう一度幼子イエス様の降誕、おめでとうございます。

人となられた幼子イエス様の喜びと光が皆さんと共にありますように。

令和二年十二月二十五日

主の降誕の喜びのうちに

プロト洪潤学神父